新進気鋭の日系建築家が奏でる"お風呂"付きホテル Galería Plaza Irapuato が9月に開業

榎本　陽介

今年9月1日、日系企業の進出が続いているイラプアトにGALERIA PLAZA IRAPUATOがオープンします。このホテルは、日本人ビジネスマンをメインターゲットに定めているメキシコ国内でも珍しいホテルで、随所に日本人ゲストを意識したサービスが散りばめられています。

このホテルのゼネラルマネージャーであるウリセス・ヒメネス氏にこのホテルの特徴をお聞きしました。

このGALERIA PLAZA IRAPUATOは全138部屋有するホテルで、ラグジュアリールーム、ロフトルーム、ジュニアスイート、マスタースイート、ロフトマスタースイートの5つのタイプの居室がご用意されています。各部屋の大きさは35～85㎡となっています。

このホテルの特徴は、日系の建築家エンリケ・シバヤマ氏のデザインです。同氏はテレビ番組『料理の鉄人』で伝説となった森本正治氏がオーナーを務めるメキシコシティーのレストラン「MORIMOTO」の設計を手掛けたほか、日墨学院のリフォームも手掛けています。その特出するデザインのなかで、特に日本人ゲストを意識して作られたのが「el Ofuro」(地下1階　※1)という入浴施設です。この「el Ofuro」は、日本の銭湯のようなイメージを採用しており、大きな湯船があって、旅の疲れをいやしてくれるでしょう。このような施設は他のホテルにはないユニークなものとして最大のセールスポイントとしています。

また、昼夜多忙な日本人ビジネスマンを意識した設備やサービスも完備しています。例えばビデオ会議に必要なソフトウェアを用意しているなど、日本との会議をするために必要な機材も完備されており、また会議室のサイズも、大小様々なサイズのスペースがあり、個人ユースや、大規模会議となど様々なビジネスシーンに対応できるようなっています。

また、ゲストが安心して宿泊していただけるよう、セキュリティ対策にも万全を期しています。セキュリティ専門家の指導の下、万全の安全対策の構築がこのホテルの最重要事項として職員が意識しています。また、同時に快適な空間や環境を常に維持することも欠かせないことです。

一方、日々の緊張したビジネスライフへのケアとして、アジア料理のレストラン、ジムやスパ、そしてサウナが完備しており、イラプアト市が一望できる7階にはプール付きのルーフガーデンや、ゴルフ練習用のパッティンググリーンも設置されています。

「当ホテルでは、日本人のお客様にメキシコが第2の故郷だと感じていただけるよう、デザイン、各種施設、そしてサービスにもさまざまな工夫が込められています。長期の滞在やご旅行で来られる際も、イラプアトにお越しの際はぜひGalería Plaza Irapuatoをご利用いただければと思います。メキシコでよく使われる言葉ですが、私たちのモットーは"Mi casa es su casa "なのです。」ゼネラルマネージャーであるウリセス・ヒメネス氏はこのようにGalería Plaza Irapuatoのコンセプトを説明しています。

写真：Galería Plaza Irapuato

注）※1el Ofuroは男性専用の施設となっています。

新しいコンセプトのホテル
イラプアトでオープン

9月1日　ニューオープン

Galería Plaza Irapuato
Av. Siglo XXI No. 555, Col. El Copalillo,
C.P. 36823 Irapuato, Guanajuato.

brisas.com.mx

Tels: (462) 688.1500 | 01.800.2.BRISAS
galeriaplaza.irapuato@brisas.com.mx

GALERÍA PLAZA
IRAPUATO
GRUPO BRISAS